

平成30年度 市職員の給与及び不祥事防止の取組状況の公表

問合せ／人事課
内線2113

市職員の給与・定員管理の状況

市では、最小の職員数で最大の効果を上げるための志木市定員管理計画を策定しています。これを基本に、今後も限られた予算と人員の中で行政サービスの提供を図っていきます。

歳出に占める人件費の割合は減少

平成30年度の歳出のうち、人件費は14.1%でした。

平成29年度は14.9%であったため、歳出に占める人件費の割合は前年度と比較して0.8%減少しています。

平成30年度人件費の状況(一般会計)

歳出額(A)	人件費(B)※	人件费率(B/A)
230億円	32億4千万円	14.1%

※市長、副市長、市議会議員の給料・報酬などを含む

職員数の推移

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年度比
職員数	397人	394人	390人	4人減

市長の給料は県内で5番目に低い水準

志木市長の給料月額、さいたま市を除く県内39市の中で、34番目となっており、下から5番目に低い水準となっています。

(注)給与条例に基づく(特例条例などによる減額措置の影響額を除く)

特別職の報酬などの状況

職名	給料月額
市長	868,000円
副市長	764,000円
教育長	722,000円

平均給料月額は、310,900円

平均給料月額は、国家公務員を学歴別、経験年数別に区分し、その区分ごと平均給料と比較するラスパイレス指数とは異なり、各自治体が算定した平均給料であるため、職員の平均年齢による差があらわれます。

志木市の場合、近隣市と比較して、職員の平均年齢は高くなっていますが、計画的な定員管理により、若い職員の割合が増えていることから、平均給料月額は減少傾向にあります。

職員の給料月額と平均年齢の状況(一般行政職)

区分	平均給料月額	平均年齢	
志木市	310,900円	42.4歳	
近隣市	朝霞市	324,200円	41.7歳
	新座市	295,900円	38.3歳
	和光市	311,200円	40.6歳
人口が同規模の市	蕨市	313,800円	40.6歳
	鶴ヶ島市	319,600円	42.4歳

※「令和元年度埼玉県下市職員の給料手当等の調査」から引用

等級及び職制上の段階ごとの職員数

等級	等級別基準職務	人数(構成比)	職制上の段階
1級	主事補・技師補の職務	35人(9.0%)	主事補級
2級	主事・技師の職務	69人(17.8%)	主事級
3級	主任の職務	91人(23.5%)	主任級
4級	主査の職務	85人(22.0%)	主査級
5級	主幹の職務	43人(11.1%)	主幹級
6級	課長の職務	42人(10.9%)	課長級
7級	次長・参事の職務	14人(3.6%)	次長級
8級	部長の職務	8人(2.1%)	部長級

県内で4番目に低い、ラスパイレス指数

ラスパイレス指数とは、4月1日現在での国家公務員の平均給料月額を100とした場合の地方公務員の給料の程度を、指数で表すものです。

平成30年4月1日時点のラスパイレス指数をみると、さいたま市を除く県内39市の平均は100.2ポイントです。

志木市は97.7ポイントで、さいたま市を除く県内39市の中で下から4番目に低い指数となっています。

ラスパイレス指数の推移

区分	28年度	29年度	30年度
志木市	98.0	98.3	97.7
朝霞市	100.9	100.9	101.6
新座市	100.5	101.0	100.0
和光市	99.7	101.3	101.3
県内市町村平均	99.0	99.1	99.1
県内市平均	100.1	100.2	100.2
埼玉県	100.7	100.6	100.3

不祥事防止に関する取組の状況

公益通報制度の運用状況などを公表します。今後も、職員一人ひとりの自覚を高め、不祥事防止のさらなる徹底を図ります。

公務員倫理(コンプライアンス)研修…計11回

公益通報…0件